

シリーズパソコン周辺機器 ①7

「アカウント」

宮杉 浩

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活において大いに図書館を利用してください。図書館ではアカウント・サービスとして「My Library」サービスを行っています。このサービスでは図書館ホームページや携帯電話の蔵書検索から図書の予約が出来、貸出履歴の参照、返却日の通知など様々なサービスが利用できます。カウンターで利用登録することで、専用のアカウントIDとパスワードを発行します。また大学から皆さんに発行される認証アカウントで利用できるデスクトップパソコンを館内各所に配置し、さらに貸出用ノートパソコンも用意していますので、併せてご利用ください。

さて、ここまでお話ししてきて何度も「アカウント」という言葉が出てきました。今回はそのアカウントについてお話しします。アカウントとは利用者（ユーザー）がネットワークやパソコンにログインするための権利のことでユーザーIDとも呼ばれています。コンピュータにログインするためのアカウント、特定のWebサイトを利用するためのアカウント、セキュリティソフトを管理するためのアカウントなど様々な種類のアカウントがあります。アカウントには必ずパスワードが関連づけられていて、アカウントとパスワードを入力することでそのサイトやパソコンにログインすることができるのです。前述の「My Library」も図書館システム中のプログラムへログインをするためのアカウントを取得することで利用できる仕組みになっています。

インターネットを利用しているとYahoo!やAmazonなどを始め、大多数の企業サイトがアカウント・サービスを行っています。実際ショッピング・サイトの大半は自分の名前、住所といった個人情報を入力してアカウントを取得しなければ利用できません。ですからアカウントを取得するために自分の個人情報をネットワーク上に出しているという事は常に意識していなければなりません。もちろん各団体・企業とも通信の暗号化などセキュリティ対策を行っていますが、アカウント・ハッキングなどの手口で個人情報を盗もうとする犯罪が起きていることも事実です。アカウント・ハッキングを行うためのウイルスを仕込んだWebサイトにアクセスしただけで感染し、個人情報が盗まれるといった事例も頻発しています。自分の個人情報が漏洩してしまわないよう、アカウントIDとパスワードの管理をしっかりと行い、不審なサイトやバナーにアクセスしないといったネット・サーフィン上での注意点などを正しく理解することが重要です。特にパスワードは定期的に変更を行う、文書ファイルには記録しておかないなど細心の注意を払うようにしましょう。

アカウント・サービスは自己管理をしっかりと行えば、パソコンやインターネットの活用の幅を格段に広げてくれます。図書館をはじめとした便利なアカウント・サービスを正しく利用して、皆さんの資料収集や日常生活に大いに役立ててください。

みやすぎ ひろし（係長補佐・管理運営課）